

第6学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業② すずかけホール

学 級 6年4組 31名（男子16名，女子15名）

指 導 者 T1松島 元樹 T2福井 千佳子

1 単元名 Who is your hero? 「あこがれの人」(We Can!1 Unit9)

2 単元について

本学級の児童は、外国語活動に興味関心をもち意欲的に取り組んでいる。英語を使ったコミュニケーション活動は、いつも楽しんで行う様子が見られる。交流の際の声は小さいものの、何とか話しかけよう、友達の話の聞いたら反応しようとする児童が多い。1学期にはHi, friends!2 Lesson3で、動作を表す語やcan~という表現を用いて自分を紹介したり、友達の紹介を聞いたりする活動を行っている。また、We can!1 Unit5では、第三者ができることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。

本単元は、自分があこがれたり尊敬したりする人を題材にし、三人称を使って他者について話す活動を行う。ここでは、既習表現であるcan~に加え、be good at~「～が得意である」の表現を取り扱う。自分の好きなものを他者に伝えるという一人称で始めた活動が、三人称を使って他者についても話すことができるようになったことに成長を感じさせることができる。

指導にあたって、まず自分があこがれている人はどんなことが得意なのかを調べ、自分の意見も含めて友達に伝えるという単元のゴールの姿を示し、活動の見通しをもたせる。語や英語表現はチャンツやゲームなどを用いて十分に慣れ親しませていく。自分のあこがれの人について友達に知ってほしい、また、友達はだれにあこがれているのだろうかと興味をもってコミュニケーション活動を行うことができるようにしたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとしている。	第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。	

4 単元計画（総時数2時間）

時	目 標	主な学習内容
1	単元の見通しをもち、得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	得意なことを伝えよう。
2	自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。	自分のヒーローを紹介しよう。 【本時】

5 本時の指導（2／2）

（1）目標

自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。

（2）「振り返り」の工夫

- ・単元の学習を整理し、相手を大切にしながら紹介活動を行ったこと、これまでの学習を生かして紹介したことを価値付ける。
- ・単元を通しての「自分の成長」や「考えたこと」を視点として児童に振り返りを書かせ、交流をすることで本単元の学びを自覚させる。

（3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫
導入 8分	1 挨拶をする。 2 Let's Sing. ・“翼をください～ Wing To Fly” 3 Small Talk を聞く。 （家族や友だちなど） 4 めあてを確認する。 あこがれの人を紹介しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で挨拶をしたのち、児童は隣席児童と挨拶をする。 ・本時の学びに向かう楽しい雰囲気をつくる。 ・児童を会話に巻き込みながら話す。 ・本時のメニューを提示し、課題意識をもって活動できるようにする。
展開 25分	5 Let's Chant. “Who is your hero?” ・リズムにのりながら、チャンツを言う。 6 ヒーローを紹介しよう。 ・自分のヒーローを紹介する。 This is my father. He is Matsushima Syuzou. He is sixty nine. He can play basketball well. He is good at making vegetables, too. They are very yummy. He is kind. He is my hero.	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンツに入りたい語を児童に選択させ、形態を変えて何度か言わせるようにする。 ・紹介の仕方をデモンストレーションで示してイメージをつかませ、スムーズに活動できるようにする。 ・グループごとに紹介させる。 ・紹介を聞いているグループが質問をしたり感想を伝えたりするようにさせる。 ・途中でコミュニケーションのモデルとなるグループを示し、相手に配慮したやり取りができるようにする。 あこがれの人について自分の意見を含めて伝え合う。【学習活動の様子・振り返りシート】
終末 12分	7 振り返りをする。 ・He や She を使って紹介することができた。○○さんの紹介を聞いて、□さんが～が得意だと知り意外だった。（第Ⅱ型） ・話すことができる英語が増えたので、紹介するのが楽しかった。やっぱり、He,She は便利だと思った。（第Ⅲ型）	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元の学習を整理し、相手を大切にしながら紹介活動を行ったこと、これまでの学習を生かして紹介をしたことを価値付ける。 ・単元を通しての「自分の成長」や「考えたこと」を視点として児童に振り返りを書かせ、それらを交流させることで本単元の学びを自覚させる。 ・英語を使おうとしたことを称賛する。
	8 挨拶をする。	

第6学年外国語活動学習指導案

時間・場所 公開授業① ずずかけホール

学 級 6年3組 31名(男子15名,女子16名)

指 導 者 鈴木 俊哉 地域ボランティア

1 単元名 Who is your hero? 「あこがれの人」 (We Can!1 Unit9)

2 単元について

本学級の児童は、外国語活動に興味関心をもち、意欲的に取り組んでいる。これまでに英語を使ったコミュニケーション活動では、教師や児童が発表している内容を何とか聞き分けよう、理解しようとしている児童が多い。Hi, friends!2Lesson3で、動作を表す語やcan~という表現を用いて自分のできることを紹介したり、友達の紹介を聞いたりする活動を行ってきた。さらに、We can!1 Unit5では、第三者ができることやできないことを尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんできている。

本単元は、自分があこがれたり尊敬したりする人を題材にし、三人称を使って他者について話す活動を行う。ここでは、既習表現であるcan~に加え、be good at~「~が得意である」の表現を取り扱う。自分の好きなものを他者に伝えるという一人称で始めた活動が、三人称を使って他者についても話すことができるようになったことに成長を感じさせることができる。

指導に当たって、まず自分があこがれている人はどんなことが得意なのかを調べ、自分の意見も含めて友達に伝えるという単元のゴールの姿を示し、活動の見通しをもたせる。語や英語表現はチャンツやゲームなど用いて十分に慣れ親しませていく。自分のあこがれの人について友達に知ってほしい、また、友達は誰にあこがれているのだろうかに興味をもってコミュニケーション活動を行うことができるようにしたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとしている。	第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しんでいる。	

4 単元計画 (総時数2時間)

時	目 標	主な学習内容
1	単元の見通しをもち、得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	得意なことを伝えよう。【本時】
2	自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。	自分のヒーローを紹介しよう。

5 本時の指導（1／2）

（1）目標

- ・単元の見通しをもち、得意なことを表す表現に慣れ親しむ。

（2）「振り返り」の工夫

- ・自分や友達が得意なことを、たくさんの人にむかって紹介できたことを価値付ける。
- ・本時の活動で、ゲームをして「思ったこと」を視点として振り返りを書かせ、それらを交流させることで本時の学びを自覚させる。

（3）展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価の工夫
導入 8分	1 挨拶をする。 2 Let's Sing. ・ “翼をください～Wings To Fly” 3 Small Talk 4 めあてを読んで確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分や周りの人を紹介しよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で挨拶した後、児童は隣席児童と挨拶をする。何人かに今日の様子を聞く。 ・本時の学びに向かう雰囲気作りをする。 ・児童を会話に巻き込みながら話す。 ・Small Talkを聞くことで、単元のゴールの姿を意識させる。 ・本時のメニューを提示し、見通しをもって活動できるようにする。
展開 25分	5 Let's Watch and Think 6 Let's Chant. “Who is your hero?” ・音声に合わせてリズムよく言う。 7 Let's Listen2 8 紹介ゲーム ・自分や周りの児童の得意なことを紹介する。 ・ペアやグループで言い方に慣れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を使って、自分のヒーロー紹介の内容をつかませる。 ・内容の確認をしながら、英語で話すようにさせていく。 ・絵カードを使って内容を整理し、繰り返し言うようにさせる。 ・何が得意なのか音声を聞かせて答えさせる。 ・絵カードを用いて、状態を表す語を導入する ・ペアやグループなど形態を変えて何度も行わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自分や友達の得意なことや様子を表す言い方に慣れ親しんでいる。 【学習活動の様子・振り返りシート】</div>
終末 12分	9 振り返りをする <div style="border: 3px double black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の得意なことをたくさんの人に紹介することができた。（第Ⅱ型） ・次の時間にはあこがれの人を紹介することができるのが楽しみだ。（第Ⅲ型） </div> 10 挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達が得意なことを、たくさんの人に紹介できたことを価値付ける。 ・本時の活動で、ゲームをして「思ったこと」を視点として振り返りを書かせ、それらを交流させることで本時の学びを自覚させる。 ・英語を使おうとしたことを称賛する。

